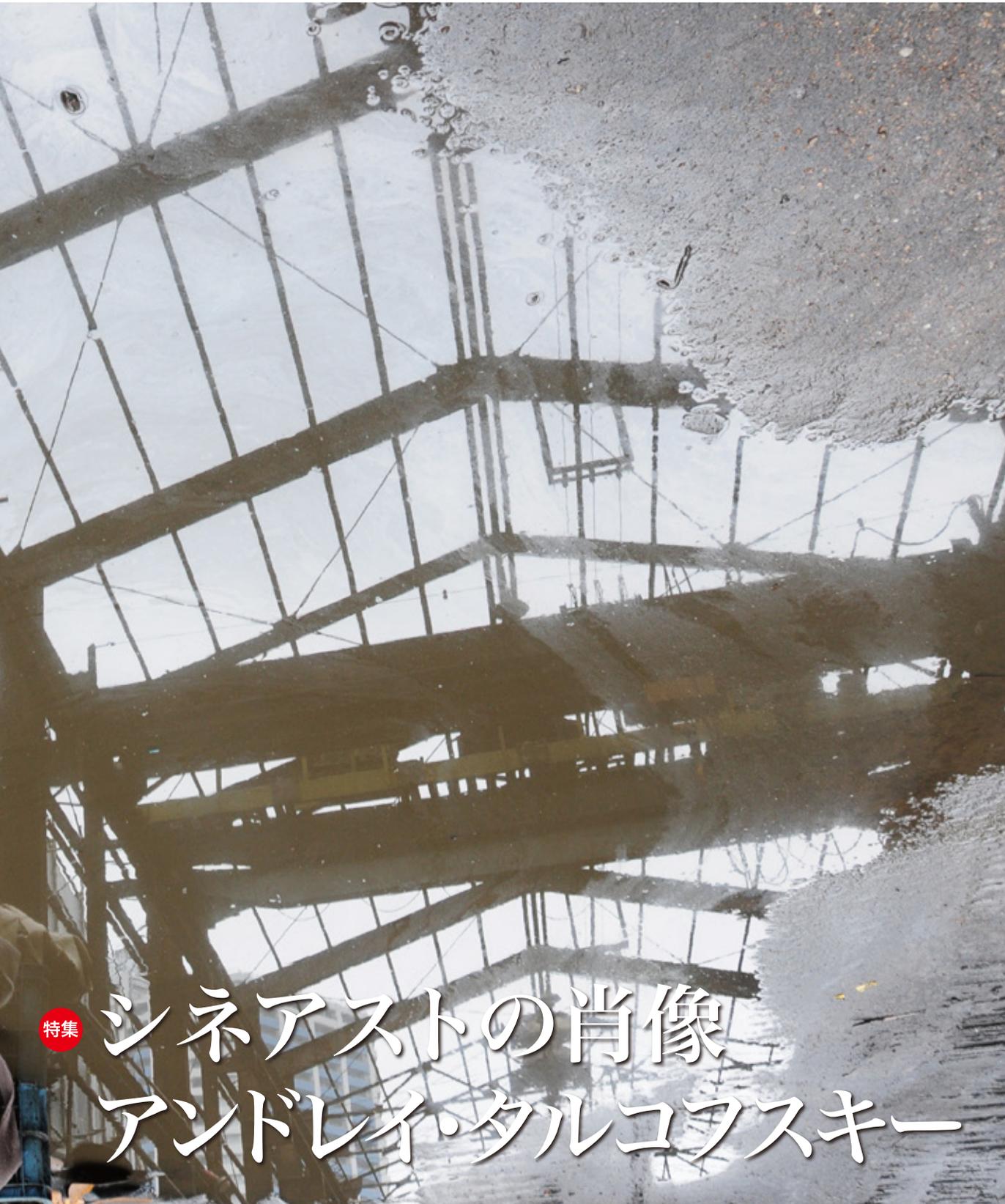


本の上の映画館

2

2017 February

 mediaSeven



特集

シネアストの肖像
アンドレイ・タルコフスキー

特集 シネアストの肖像 アンドレイ・タルコフスキー

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：100名 入場：無料
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。開場は各日上映時間の30分前です。
- 定員以上の入場はできませんので、ご了承ください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

2月10日(金) 19:00～(上映時間 102分)

『鏡』

夢に現われる母。それは、40数年前に私が生まれた祖父の家。うっそうと茂る立木に囲まれた家の中で、母はたらいに水を入れ髪を洗っている。鏡に映った母の長い髪が揺れている。あれは1935年、田舎の干し草置場で火事があった日のこと。それから父は家からいなくなった…。

監督：アンドレイ・タルコフスキー／出演：マルガリータ・テレホフ、イグナート・ダニリツェフほか／1974年／旧ソ連／DVD／字幕

2月12日(日) 14:00～(上映時間160分、途中休憩あり)

『惑星ソラリス』

惑星ソラリスの軌道の上に浮かぶ宇宙ステーションで異常事態が発生。その調査のためにクリスは地球を出発する。到着したステーション内は荒れ果て、先発の3人は皆、狂気の淵に立たされていた。そして、クリス自身も数年前に自殺したはずの妻ハリーの姿を目撃し…。

監督：アンドレイ・タルコフスキー／出演：ナタリア・ボンダルチュク、ドナータス・パニオニスほか／1972年／旧ソ連／DVD／字幕

2月22日(水) 19:00～(上映時間 91分)

『僕の村は戦場だった』

第二次世界大戦の独ソ戦によって、両親を含めた家族をすべて失い孤児となった12才の少年イワン。ドイツに対する憎しみを抱えながらパルチザンに、そして後に偵察兵としてソ連軍に参加する。結局ナチスに処刑されその短い一生を終える。

監督：アンドレイ・タルコフスキー／出演：ニコライ・ブルリャーエフ、ワレンチン・ズブコフほか／1962年／旧ソ連／DVD／字幕

2月26日(日) 14:00～(上映時間 155分、途中休憩あり)

『ストーカー』

ある地域で“何か”が起こり、政府はそこをゾーンと呼んで立ち入り禁止にした。ゾーンには願いが叶う「部屋」があると噂され、希望者をゾーンに案内するストーカーと呼ばれる人々がいた。ある日、ストーカーの元に科学者と作家の2人の男性が現れ、「部屋」に案内するよう依頼するが…。

監督：アンドレイ・タルコフスキー／出演：アレクサンドル・カイダノフスキー、アナトーリー・ソロニーツィンほか／1979年／旧ソ連／DVD／字幕

映像のポエジア

今月の本の上の映画館は、旧ソ連を代表する映画監督のアンドレイ・タルコフスキーの作品を特集します。

はじめに『鏡』は、まさに「映像詩」と形容するに相応しい作品です。シーンごとのつながりは皆無で、登場するキャラクターたちについても説明は一切ありません。戦争の記憶、母の思い出…、苦悶と悦楽、現実と幻想が交錯する映像詩。一個の人間の内的な宇宙が投影された、限りなく美しい映画です。

『惑星ソラリス』はスタニスラフ・レムのベストセラー長編『ソラリスの陽のもとに』の映画化。“未知なるもの”と遭遇して極限状況に置かれた人間の内面に光をあて、「愛」と「良心」をめぐる道徳・哲学的な問題を提起している作品です。

『僕の村は戦場だった』は、1959年発表のベストセラー小説、ウラジーミル・ボゴモロフの短編「イワン」を映画化した作品です。少年の記憶に残る平和な日々を辿る詩情豊かで美しい回想シーンと、少年が命を犠牲にせざるを得なかった敵しい現実のリアルな描写のコントラストで描いています。

最後に『ストーカー』は、監督自らが美術を担当しているほか、『鏡』と同様に父親アルセニー・タルコフスキーや、19世紀ロシア象徴派詩人フョードル・チュッチェフの詩が度々挿入されています。現代人の生き方を問うSF大作です。

タルコフスキーの作品は、物語性よりも象徴を優先し、寡黙かつ流麗で詩的な映像美の結晶といえます。難解で、退屈であると評される事も多いですが、その神秘的な深みから観るものに多様なインスピレーションを与えてくれます。今月も本の上の映画館をどうぞお楽しみください。

3月の上映予定

- 10日(金) 19:00～『ダブルシフト』
- 12日(日) 14:00～『マダム・イン・ニューヨーク』
- 25日(土) 14:00～『深夜食堂』
- 29日(水) 19:00～『イロイロ めくもりの記憶』

川口市立映像・情報メディアセンター
メディアセブン

〒332-0015
埼玉県川口市川口1-1-1 キュポ・ラ 7F
◎開館時間 月-金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00
◎休館日 毎月 第3金曜日(機器調整日)、12月29日-1月4日
◎お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724
◎URL <http://www.mediaseven.jp>

